令和三年度第十回（一月）

諫早市農業委員会総会

議事録

令和3年度諫早市農業委員会 第10回総会議事録

1 開催日時 令和4年1月28日(金) 開会 午後2時00分 ~ 閉会 午後2時35分

2 開催場所 諫早市役所 本館5階 大会議室

3 出席委員 (19人)

会 長	20番	山開博俊			
会長職務代理者	19番	小森俊夫			
農 業 委 員	1番	池田つや子	2番	久保 繁	3番 中尾貞治
	4番	久本純造	5番	立森和富	6番 前田貞松
	7番	中川一範	8番	松尾正晴	9番 長谷川 博
	10番	山口勇満	12番	松本秀徳	13番 陣野昭則
	14番	山口廣三	15番	澤久 進	16番 周防克己
	17番	池田武弘	18番	野副栄治	

4 欠席委員 (1人) 11番 中島康範

5 付議事件

- 第1号 農業振興地域整備計画の農用地利用計画変更に伴う意見聴取の件
- 第2号 農地法第5条の規定による許可申請書審議の件
- 第3号 農業経営基盤強化促進法による利用権設定等審議の件
- 第4号 農地中間管理事業に係る「農用地利用配分計画」に対する意見聴取の件

6 報 告

- 第1号 農地法第3条の3の規定による届出書受理の件
- 第2号 農地法第18条第6項の規定による合意解約の通知の件
- 第3号 農地法第5条の規定による農地転用届出書受理の件
- 第4号 農業用施設届出書受理の件
- 第5号 農地改良等届出書受理の件

7 そ の 他

8 事 務 局

局 長	宇野和利	次 長	増山義洋	主任	半田智也
事務職員	中山幸一	事務職員	山内 裕		

9 議 事

(開会)

議 長 これより、令和3年度諫早市農業委員会第10回総会を開会いたします。
総会の定足数について、事務局より報告願います。

事 務 局 総会の定足数につきまして、ご報告いたします。
農業委員会の在任委員20名中、19名の出席で定足数に達していますので、総会が成立していることをご報告いたします。なお、11番・中島康範委員から欠席の届出がっております。以上で、報告を終わります。

議 長 それでは議事に入る前に、諫早市農業委員会総会 会議規則第19条第2項に規定の議事録署名人を定めたいと存じます。

私に、ご一任いただければ指名したいと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 異議なしということですので、議事録署名人に2番・久保繁委員、12番・松本秀徳委員のご両人をお願いいたします。

それでは、議事に入りますが、議事進行上発言される際は、挙手をし、議長の許可を受けてから、氏名を告げて発言をお願いします。

また、発言は、簡明に、議題外、又はその範囲を越えないようにお願いします。

(議案第1号) それでは、議案第1号「農業振興地域整備計画の農用地利用計画変更に伴う意見聴取の件」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事 務 局 議案第1号について、ご説明いたします。今月は6件の農用地利用計画変更に伴う意見聴取がございます。6件のうち5件は農用地区域からの除外の申出で、もう1件は、農用地区域内の用途の変更(農用地から農業用施設用地への変更)で、軽微な変更となるものでございます。これらは諫早市長から農業委員会へ意見を求められたものでございます。

1番、諫早地区、福田町及び目代町の田5筆、9,202㎡について、農用地区域からの除外の申し出がっております。申出地及びその周辺は、福田川の上流に位置し、川を挟み斜面地となっており、そのほとんどが休耕地となっている状況でございます。今後、申出人が営農することが難しいことから、植林をしてクヌギ山への転用を予定しているものです。当該地については圃場整備区域に入っておらず、今後も整備の予定はありません。また、周辺部に位置しており、農地の集積への影響がないものと判断されます。除外後は農地法第4条の農地転用申請が予定されています。

2番、多良見地区、多良見町舟津の畑2筆、計40㎡について、農用地区域からの除外の申し出がっております。本件は、所有者の孫の住宅を建築した際に、住宅の一部が農地に越境してしまったために、除外の申出を行い転用するものです。申出地の周辺ですが、圃場整備区域に入っておらず、今後も整備の予定はありません。また、周辺部に位置しており、農地の集積への影響がないものと判断されます。除外後は農地法第5条の農地転用申請が予定されています。

3番、森山地区、森山上井牟田の畑1筆、921㎡のうち116㎡について、農

用地区域からの除外の申し出がっております。本件は、昭和51年頃に隣接地に住宅を建築し、申出地を庭及び駐車場として利用しておりました。現在は貸家として利用中です。今般、この住宅を借主に売却しようとしたところ、この土地が農地であることが判明したため、除外の申出を行い転用するものです。申出地の周辺ですが、圃場整備区域に入っておらず、今後も整備の予定はありません。また、周辺部に位置しており、農地の集積への影響がないもの判断されます。除外後は農地法第4条の農地転用申請が予定されています。

4番、飯盛地区、飯盛町中山の田1筆、1,398㎡のうち686㎡について、既存の農業用倉庫を増築し、トラクター等の保管場所として整備するために農用地区域の用途区分を農用地から農業用施設用地へ変更する申出です。申出人は、主に飯盛町内でバレイショ等の栽培を行っており、既存の倉庫では広さが不足していることから倉庫を増築する申出がっております。変更後は、農地法第4条の農地転用申請が予定されています。

5番、飯盛地区、飯盛町上原の田4筆、計3,539㎡について、農用地区域からの除外の申し出がっております。本件は、既存のガソリンスタンドが長崎県の水路整備工事に伴い移転するため、除外の申出を行い転用するものです。申出地の周辺は、圃場整備区域に入っておりますが、昭和62年に整備しており8年以上経過しております。また、周辺部に位置しており、農地の集積への影響がないものと判断されます。除外後は農地法第5条の農地転用申請が予定されています。

6番、高来地区、高来町三部壺の畑1筆、157㎡について、農用地区域からの除外の申し出がっております。本件は、既存の事業所内にある社員駐車場が不足していることから新たに駐車場を整備するものです。申出地の周辺は、圃場整備区域に入っておりますが、平成2年頃に整備しており8年以上経過しております。また、周辺部に位置しており、農地の集積への影響がないもの判断されます。除外後は農地法第5条の農地転用申請が予定されています。議案第1号については、以上となっております。

議 長 議案第1号の説明がありましたので、1番について、何かご質問はありませんか。
(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、1番の農用地区域からの除外は、「やむを得ない」と意見することにご異議ありませんか。
(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、1番の農用地区域からの除外は、「やむを得ない」と意見することに決定いたします。

議 長 次に、2番について、何かご質問はありませんか。
(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、2番の農用地区域からの除外は、「やむを得ない」と意見することにご異議ありませんか。
(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、2番の農用地区域からの除外は、「やむを得ない」と

と意見することに決定いたします。

議 長 次に、3番について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、3番の農用区域からの除外は、「やむを得ない」と意見することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、3番の農用区域からの除外は、「やむを得ない」と意見することに決定いたします。

議 長 次に、4番について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、4番の農用区域の用地変更については、「異議がない」と意見することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、4番の農用区域の用途変更は、「異議がない」と意見することに決定いたします。

議 長 次に、5番について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、5番の農用区域からの除外は、「やむを得ない」と意見することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、5番の農用区域からの除外は、「やむを得ない」と意見することに決定いたします。

議 長 次に、6番について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、6番の農用区域からの除外は、「やむを得ない」と意見することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、6番の農用区域からの除外は、「やむを得ない」と意見することに決定いたします。

(議案第2号) 次に、議案第2号「農地法第5条の規定による許可申請書審議の件」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事 務 局 議案第2号「農地法第5条の規定による許可申請書審議の件」を説明します。

1番、諫早地区、仲沖町の田1筆、859㎡について、資材置場用地とする転用申請です。契約内容は賃貸借権設定10年となっております。区域区分は調整区域、農振白地です。農地の立地基準については、第2種農地に該当します。譲受人は、諫早市内において土木建築工事業を営んでおり、本件は型枠・足場材などの資材置場や重機置場、そして、一部については社員用駐車場12台分として整備するものです。被害防除計画についてですが、土地の造成はなく転圧する程度でほぼ現状のまま利用し、申請地周辺にある既存の擁壁を利用することで、土砂流出等の被害発

生がないようにします。雨水排水については水路へ放流します。隣接する農地はなく、資金については譲受人が自ら施工することにより新たな費用が発生しないため、その旨を記載した申立書の提出がっております。なお、令和3年12月14日付けで農用地区域からの除外決定がなされております。

2番、小栗地区、平山町の畑1筆、707㎡に、併用地として雑種地3筆及び里道を合わせた合計1,783.71㎡を、店舗用地とする転用申請です。契約内容は売買、区域区分は調整区域、農振白地です。農地の立地基準については第2種農地に該当します。本件はコンビニエンスストアの店舗と駐車場15台分を整備するものです。被害防除計画については、盛土を最高0.3m、切土を最高3.8m施し、申請地周辺の一部に擁壁を新たに設置することにより土砂流出等の被害発生がないようにします。雨水は道路側溝へ放流し、汚水等については合併浄化槽を通じて道路側溝へ放流する計画となっております。隣接する農地所有者等との協議書が添付されており、資金については残高証明で確認しています。また、都市計画法第29条第1項に基づく開発許可申請中でございます。

3番、有喜地区、天神町の畑1筆96㎡と、登記地目が宅地で現況地目が畑となっている農地1筆210.14㎡を合わせた合計306.14㎡に、一般住宅を建築し、住宅用地とする転用申請です。契約内容は親子間による贈与となっております。区域区分はその他の区域、農振白地です。農地の立地基準については、第2種農地に該当します。本件は木造平屋建ての住宅を建築するもので、被害防除計画については、土地の造成はなく現状のまま利用し、申請地周辺にブロック擁壁を設置することにより土砂流出等の被害発生がないようにします。雨水については水路へ、汚水等については合併浄化槽を通じて水路へ放流する計画となっております。隣接する農地はなく、資金については通帳の写し及び融資証明で確認しています。

4番、森山地区、森山町下井牟田の畑2筆、計499㎡について、一般住宅を建築し、住宅用地とする転用申請です。契約内容は使用貸借権設定永久で、親族間による貸借となっております。区域区分はその他の区域、農振白地で、農地の立地基準については、水道・下水の2管が通る道路に接し、500m以内に2以上の公共施設がある土地でございますので第3種農地に該当します。本件については、木造2階建ての住宅を建築するもので、土地の造成はなく現状のまま利用します。雨水は水路へ、汚水等は下水道へ接続します。隣接する農地はなく、資金については融資証明で確認しています。議案第2号については以上となっております。

議 長 議案第2号の説明がありましたので、1番・諫早地区担当の委員さん補足説明をお願いします。

委 員 1番、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図、被害防除計画書等から判断して適正であると思われれます。ご審議の程よろしくをお願いします。

議 長 1番の説明がありましたが、何かご質問はありませんか。
(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、1番は申請どおり許可することにご異議ありません

か。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、1番は申請どおり許可することに決定いたします。
議 長 次に、2番・小栗地区担当の委員さん補足説明をお願いします。

委 員 2番、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地
議 長 利用計画図、被害防除計画書等から判断して適正であると思われます。ご審議の
議 長 程よろしくをお願いします。

2番について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、2番は申請どおり許可することにご異議ありません
議 長 か。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、2番は申請どおり許可することに決定いたします。
議 長 次に、3番・有喜地区担当の委員さん補足説明をお願いします。

委 員 3番、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地
議 長 利用計画図、被害防除計画書等から判断して適正であると思われます。ご審議の
議 長 程よろしくをお願いします。

3番について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、3番は申請どおり許可することにご異議ありません
議 長 か。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、3番は、申請どおり許可することに決定いたします。
議 長 次に、4番・森山地区担当の委員さん補足説明をお願いします。

委 員 4番、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地
議 長 利用計画図、被害防除計画書等から判断して適正であると思われます。ご審議の
議 長 程よろしくをお願いします。

4番について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、4番は申請どおり許可することにご異議
議 長 ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、4番は申請どおり許可することに決定いたします。
議 長 次に、議案第3号「農業経営基盤強化促進法による利用権設定等審議の件」を議
(議案第3号) 題といたします。事務局から説明をお願いします。

事 務 局 議案第3号「農業経営基盤強化促進法による利用権設定等審議の件」について、
ご説明いたします。

1番、森山地区、森山町下井牟田の農地1筆、762㎡を、農業経営規模拡大を
行うため、賃貸借6年で借り入れる新規の申出です。申出人は、水稻、麦、ミニト

マトの生産を主体に経営されています。

2番、飯盛地区、飯盛町後田の農地9筆、9,481㎡を、農業経営規模拡大を行うため、賃貸借10年で借り入れる新規の申出です。申出人は、水稻、イチゴ、馬鈴薯、人参の生産を主体に経営されています。

3番から8番は借受人が同一の案件です。

3番、飯盛地区、飯盛町開の農地1筆、1,753㎡、

4番、飯盛地区、飯盛町開の農地1筆、687㎡、

5番、飯盛地区、飯盛町開の農地1筆、2,248㎡、

6番、飯盛地区、飯盛町開の農地1筆、2,278㎡、

7番、飯盛地区、飯盛町開の農地2筆、1,918㎡、

8番、飯盛地区、飯盛町上原の農地1筆、1,724㎡、計7筆10,608㎡を、農業経営規模拡大を行うため、2番から5番と7番を賃貸借6年で、6番と8番を賃貸借10年で借り入れる新規の申出です。申出人は、水稻、人参、馬鈴薯の生産を主体に経営されています。

9番、飯盛地区、飯盛町上原の農地5筆、5,048㎡を、農業経営規模拡大を行うため賃貸借6年で借り入れる新規の申出です。申出人は、水稻、人参、馬鈴薯の生産を主体に経営されています。

以上、1番から9番までの申し出は、権利取得後の全ての農地について、年間を通して耕作されると認められるため、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしています。以上で説明をおわります。

議 長 議案第3号の説明がありました。1番から9番について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、1番から9番は、申出どおり許可することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、1番から9番は、申出どおり許可することに決定いたします。

(議案第3, 4号) 続きまして、関連がありますので、議案第3号の10番から60番、議案第4号「農地中間管理事業に係る農用地利用配分計画に対する意見聴取の件」について、一括して議題とします。事務局から説明をお願いします。

事 務 局 議案第3号の10番から60番、議案第4号「農地中間管理事業に係る農用地利用配分計画に対する意見聴取の件」について説明します。

議案第3号の10番、諫早地区、仲沖町の農地2筆、4,361㎡を、議案第4号の1番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大に繋がります。

議案第3号の11番、諫早地区、福田町の農地1筆、3,932㎡を、議案第4号の2番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の

設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大に繋がります。

議案第3号の12番、小野地区、黒崎町の農地3筆、6,577㎡を、議案第4号の3番に賃貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦、玉ねぎの生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大に繋がります。

議案第3号の13番、小野地区、小野島町の農地1筆、2,001㎡を、議案第4号の4番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大に繋がります。

議案第3号の14番、小野地区、川内町の農地3筆、4,622㎡を、議案第4号の5番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦、ブロッコリーの生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大に繋がります。

議案第3号の15番、森山地区、森山町田尻の農地2筆、1,873㎡、

議案第3号の16番、森山地区、森山町田尻の農地2筆、2,763㎡、

議案第3号の17番、森山地区、森山町田尻の農地8筆、9,780.86㎡、

議案第3号の18番、森山地区、森山町田尻の農地6筆、4,300.88㎡、

議案第3号の19番、森山地区、森山町田尻の農地2筆、1,975㎡を、議案第4号の6番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大と農地中間管理事業の活用に繋がります。

議案第3号の20番、森山地区、森山町田尻の農地1筆、776㎡、

議案第3号の21番、森山地区、森山町田尻の農地2筆、2,446㎡、

議案第3号の22番、森山地区、森山町田尻の農地2筆、5,250㎡、

議案第3号の23番、森山地区、森山町田尻の農地1筆、1,929.74㎡を、議案第4号の7番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、ブロッコリーの生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大に繋がります。

議案第3号の24番、森山地区、森山町田尻の農地14筆、19,016㎡を、議案第4号の8番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農地中間管理事業の活用に繋がります。

議案第3号の25番、森山地区、森山町田尻の農地3筆、4,323㎡を、議案第4号の9番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大に繋がります。

議案第3号の26番、森山地区、森山町下井牟田の農地15筆、22,976㎡、

議案第3号の27番、森山地区、森山町下井牟田の農地1筆、904㎡、

議案第3号の28番、森山地区、森山町下井牟田の農地1筆、902.11㎡、
議案第3号の29番、森山地区、森山町下井牟田の農地3筆、3,778㎡、
議案第3号の30番、森山地区、森山町下井牟田の農地1筆、712㎡、

議案第3号の31番、森山地区、森山町下井牟田の農地1筆、1,019㎡を、
議案第4号の10番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画
です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されており、今回、権利
の設定を受けることにより、農地中間管理事業の活用と農業経営規模拡大に繋がります。

議案第3号の32番、森山地区、森山町下井牟田の農地8筆、17,313㎡を、
議案第4号の11番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画
です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦、大豆、蕎麦の生産を主体に経営されて
おり、今回、権利の設定を受けることにより、農地中間管理事業の活用に繋がります。

議案第3号の33番、森山地区、森山町下井牟田の農地4筆、3,453㎡、
議案第3号の34番、森山地区、森山町下井牟田の農地4筆、3,480㎡、
議案第3号の35番、森山地区、森山町下井牟田の農地2筆、3,169㎡、
議案第3号の36番、森山地区、森山町下井牟田の農地5筆、5,618㎡、
議案第3号の37番、森山地区、森山町下井牟田の農地2筆、3,311㎡を、
議案第4号の12番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画
です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦、ミニトマトの生産を主体に経営されて
おり、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大に繋がります。

議案第3号の38番、森山地区、森山町下井牟田の農地11筆、12,321㎡、
議案第3号の39番、森山地区、森山町下井牟田の農地8筆、9,968.38
㎡を、議案第4号の13番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分
計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦、大豆の生産を主体に経営されてお
り、今回、権利の設定を受けることにより、農地中間管理事業の活用と農業経営規
模拡大に繋がります。

議案第3号の40番、森山地区、森山町下井牟田の農地19筆、16,264.
93㎡を、議案第4号の14番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用
配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦、大豆、ニラの生産を主体に経
営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大に繋がります。

議案第3号の41番、森山地区、森山町下井牟田の農地1筆、993㎡、
議案第3号の42番、森山地区、森山町下井牟田の農地1筆、999㎡、
議案第3号の43番、森山地区、森山町下井牟田の農地8筆、8,540㎡、
議案第3号の44番、森山地区、森山町下井牟田の農地4筆、4,739㎡、
議案第3号の45番、森山地区、森山町下井牟田の農地1筆、737㎡、
議案第3号の46番、森山地区、森山町下井牟田の農地3筆、1,650㎡、
議案第3号の47番、森山地区、森山町下井牟田の農地5筆、5,161㎡を、

議案第5号の15番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦、大豆、蕎麦の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大と農地中間管理事業の活用に繋がります。

議案第3号の48番、森山地区、森山町下井牟田の農地7筆、6,543㎡、

議案第3号の49番、森山地区、森山町下井牟田の農地3筆、2,155㎡を、議案第4号の16番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦、大豆の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農地中間管理事業の活用に繋がります。

議案第3号の50番、森山地区、森山町下井牟田の農地7筆、5,913㎡を、議案第4号の17番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦、大豆の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農地中間管理事業の活用に繋がります。

議案第3号の51番、森山地区、森山町下井牟田の農地5筆、4,619㎡を、議案第4号の18番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農地中間管理事業の活用に繋がります。

議案第3号の52番、森山地区、森山町下井牟田の農地4筆、3,905㎡を、議案第4号の19番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦、大豆の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農地中間管理事業の活用に繋がります。

議案第3号の53番、森山地区、森山町下井牟田の農地5筆、6,466㎡、

議案第3号の54番、森山地区、森山町下井牟田の農地1筆、4,204㎡を、議案第4号の20番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦、大豆の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大に繋がります。

議案第3号の55番、高来地区、高来町三部壺の農地1筆、1,100㎡、

議案第3号の56番、高来地区、高来町三部壺の農地1筆、1,005㎡を、議案第4号の21番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大に繋がります。

議案第3号の57番、高来地区、高来町東平原の農地2筆、1,758㎡、

議案第3号の58番、高来地区、高来町東平原の農地2筆、2,415㎡、

議案第3号の59番、高来地区、高来町東平原の農地1筆、1,237㎡を、議案第4号の22番に使用貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大に繋がります。

議案第3号の60番、飯盛地区、飯盛町後田の農地2筆、788㎡を、議案第4号の23番に貸借10年で新規に権利設定する農用地利用配分計画です。権利の

設定を受ける者は、馬鈴薯、生姜の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大に繋がります。

続きまして議案第4号の配分計画の変更について、説明します。

既に農業経営基盤強化促進法により農地中間管理機構が利用権の設定を受けている高来地区、高来町里の農地1筆、1,705㎡について、議案第4号の24番のとおり、配分を受ける者の変更を行う農用地利用配分計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営しており、今回、権利の設定を受けることにより、農業経営規模拡大に繋がります。契約内容は、賃貸借で、貸借期間は従前の貸借期間の残存期間である7年8か月となっています。

以上、議案第3号の10番から60番までの申出は、農地中間管理事業の実施に係るものと認められるため、農業経営基盤強化促進法第18条第3項第2号の要件を満たしています。また、議案第4号の1番から24番までの農用地利用配分計画は、「農地中間管理事業の実施に関する規程」の「貸付先決定ルール」に基づき作成されたものであります。以上で説明を終わります。

議長 議案第3号の10番から60番、また、議案第4号の1番から24番について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議長 ご質問がないようですので、議案第3号の10番から60番を許可し、議案第4号の1番から24番を「意見なし」とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議長 ご異議がないようですので、議案第3号の10番から60番を許可し、議案第4号の1番から24番を「意見なし」とすることに決定いたします。

(報告) 次に、報告案件について、事務局より報告願います。

事務局 報告第1号「農地法第3条の3の規定による届出書受理の件」について報告します。

諫早・長田地区から1件、飯盛地区から2件、高来地区から2件、小長井地区から1件、合計6件出ています。届出理由は、全て相続により農地の所有権を取得したためです。

報告第2号「農地法第18条第6項の規定による合意解約の通知の件について報告します。

諫早地区から1件、小野地区から1件、森山地区から24件、合計26件の通知が出ています。解約理由は、小野地区の1件が規模縮小のため、諫早地区の1件と森山地区の24件が農地中間管理機構に貸し付けるためとなっております。

報告第3号「農地法第5条の規定による農地転用届出書受理の件」について報告します。

1番、多良見地区、多良見町化屋の登記地目が宅地、現況地目が畑となっている農地1筆、175.42㎡を住宅用地にする売買の届出がっております。

報告第4号「農業用施設届出書受理の件」について報告します。

1番、本野地区、富川町の田2筆、240㎡のうち177㎡に農業用倉庫を設置

する届出がっております。

報告第5号「農地改良等届出書受理の件」について報告します。

高来地区、高来町坂元の田2筆、2, 537㎡について、田畑転換する届出が
っております。西側の河川が大雨の際に氾濫し、雑石が入り込み、田としての利用
が困難となったため、田畑転換い生産性を高めるものとなっております。工事後
は、ニンクを作付けする計画となっております。以上で報告を終わります。

議長 長 ただいまの報告の件について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議長 長 なければ、報告の件は、ご了承をお願いいたします。

議長 長 以上をもちまして、提出されました案件は全て終了いたしました。

お諮りします。議決されました案件につきましては、字句、数字、その他整理を
要するものがありました場合、その整理を議長に委任されたいと思います。これに
ご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議長 長 ご異議ありませんので、これらの整理を要するものにつきましては、議長に委任
することに決定いたしました。

議長 長 本日の、農地法等に係る審議結果をご報告します。

議案第1号	農業振興地域整備計画の農用地利用計画変更に伴う 意見聴取の件	6件。
議案第2号	農地法第5条許可	4件。
議案第3号	農業経営基盤強化促進法による利用権設定	60件。
議案第4号	農地中間理事業に係る農用地利用配分計画	24件。

以上、審議件数は、全部で94件でございました。

以上で本日の審議事項等はすべて終了いたしました。

委員さん方から何かご質問等はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議事局長 長 なければ、事務局から連絡事項等はありませんか。

(事務連絡)

議事局長 ありがとうございます。それでは、これをもちまして、令和3年度諫早市農業
委員会第10回総会を閉会いたします。

議長 _____ (印)

議事録署名人 _____ (印)

議事録署名人 _____ (印)